



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月12日

上場会社名 日本プラスト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7291 URL <https://www.n-plast.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永野 博久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画本部長 (氏名) 豊田 剛志 TEL 0544-58-9080
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 2021年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（動画配信を予定しております）

（百万円未満切捨て）

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	42,454	32.8	△234	—	△200	—	△448	—
2021年3月期第2四半期	31,974	△41.2	△1,451	—	△1,427	—	△1,406	—

（注）包括利益 2022年3月期第2四半期 1,348百万円（－％） 2021年3月期第2四半期 △2,125百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	△23.47	—
2021年3月期第2四半期	△72.75	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	74,892	34,065	45.5
2021年3月期	74,536	32,911	44.2

（参考）自己資本 2022年3月期第2四半期 34,065百万円 2021年3月期 32,911百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2022年3月期	—	15.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	15.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,000	3.5	△500	—	△500	—	△1,300	—	△67.99

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2021年11月12日）公表いたしました「2022年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2022年3月期2Q	19,410,000株	2021年3月期	19,410,000株
2022年3月期2Q	290,678株	2021年3月期	289,889株
2022年3月期2Q	19,119,733株	2021年3月期2Q	19,327,054株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内外の経済は、東南アジアの新型コロナウイルス（以下「新型コロナ」という。）感染拡大に伴う半導体を中心とした部品供給の停滞により、自動車の減産幅が拡大しております。依然としてその解消時期が見通せないことから、自動車業界の先行きは不透明な状況が続くものと思われま

す。このような状況の中、当第2四半期連結累計期間における売上高は、主に北米及び中国での新型コロナ感染拡大影響からの復旧等により前年同期比32.8%増の42,454百万円となりました。損益面では、増収影響及び合理化効果はあったものの、半導体供給不足による直前での大幅減産により適切な生産体制の確保が困難であったことや、コンテナ不足による海上輸送費の高騰、市況変動に伴う樹脂原料の値上げ等により営業損失は234百万円（前年同期は1,451百万円の営業損失）、経常損失は200百万円（前年同期は1,427百万円の経常損失）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失は448百万円（前年同期は1,406百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① 日本

国内の売上高は、半導体供給不足の影響はあるものの、新型コロナ感染拡大影響からの復旧等により13,080百万円と前年同期に比べ1,278百万円（10.8%）の増収となりました。セグメント損失は、1,402百万円（前年同期は1,073百万円のセグメント損失）となりました。増収となったことや、工場での休業実施、諸経費抑制等に努めたものの、半導体供給不足による直前での大幅減産により適切な生産体制の確保が困難であったことや、コンテナ不足による海上輸送費の高騰、市況変動に伴う樹脂原料の値上げ等により赤字となりました。

② 北米

北米の売上高は、東南アジアの新型コロナ感染拡大に伴う半導体を中心とした部品供給の停滞による得意先の生産調整影響はあるものの、新型コロナ感染拡大影響からの復旧及び新車の立ち上がり等により15,215百万円と前年同期に比べ4,930百万円（47.9%）の増収となりました。セグメント損失は、195百万円（前年同期は1,155百万円のセグメント損失）となりました。増収影響及びコロナ禍において実施してきた業務の効率化等はあったものの、半導体供給不足による直前での大幅減産により適切な生産体制の確保が困難であったことや、コンテナ不足による海上輸送費の高騰、市況変動に伴う樹脂原料の値上げ等により赤字となりました。

③ 中国

中国の売上高は、新型コロナ感染拡大影響からの復旧等により12,556百万円と前年同期に比べ3,825百万円（43.8%）の増収となりました。セグメント利益は、増収影響等により1,319百万円と前年同期に比べ495百万円（60.1%）の増益となりました。

④ 東南アジア

東南アジアの売上高は、新型コロナ感染拡大影響からの復旧等により1,602百万円と前年同期に比べ445百万円（38.5%）の増収となりました。セグメント利益は、増収影響及びコロナ禍において実施してきた業務の効率化等により107百万円（前年同期は87百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、74,892百万円となり、前連結会計年度に比べ355百万円増加しました。これは受取手形及び売掛金の減少4,257百万円、原材料及び貯蔵品の増加2,333百万円及び有形固定資産の増加1,754百万円が主な要因であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、40,827百万円となり、前連結会計年度に比べ798百万円減少しました。これは支払手形及び買掛金の減少3,372百万円及び短期借入金の増加2,954百万円が主な要因であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、34,065百万円となり、前連結会計年度に比べ1,154百万円増加しました。これは為替換算調整勘定の増加1,802百万円及び利益剰余金の減少642百万円が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期までの業績等を踏まえ、2021年5月13日に公表の業績予想値を修正しております。詳細は、本日別途発表の「2022年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,597	9,939
受取手形及び売掛金	16,707	12,449
製品	1,604	2,023
仕掛品	787	1,019
原材料及び貯蔵品	9,314	11,647
その他	1,314	1,823
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	40,323	38,900
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,249	10,429
機械装置及び運搬具(純額)	9,189	9,944
工具、器具及び備品(純額)	4,040	4,146
土地	3,724	3,754
その他(純額)	3,465	4,148
有形固定資産合計	30,668	32,423
無形固定資産		
特許権	187	125
その他	320	314
無形固定資産合計	507	439
投資その他の資産		
投資有価証券	2,069	2,053
繰延税金資産	354	311
その他	620	772
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	3,037	3,129
固定資産合計	34,213	35,992
資産合計	74,536	74,892

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,026	7,654
短期借入金	12,311	15,266
1年内返済予定の長期借入金	2,493	2,427
未払法人税等	377	147
賞与引当金	713	702
役員賞与引当金	38	18
製品保証引当金	72	92
その他	4,917	6,078
流動負債合計	31,951	32,387
固定負債		
長期借入金	5,782	4,721
繰延税金負債	194	12
退職給付に係る負債	2,801	2,760
役員株式給付引当金	26	44
製品保証引当金	91	98
その他	776	802
固定負債合計	9,673	8,439
負債合計	41,625	40,827
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,206	3,206
資本剰余金	5,213	5,213
利益剰余金	28,878	28,235
自己株式	△127	△128
株主資本合計	37,170	36,527
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	624	608
為替換算調整勘定	△4,623	△2,821
退職給付に係る調整累計額	△260	△249
その他の包括利益累計額合計	△4,259	△2,462
純資産合計	32,911	34,065
負債純資産合計	74,536	74,892

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	31,974	42,454
売上原価	30,554	39,065
売上総利益	1,419	3,388
販売費及び一般管理費	2,871	3,623
営業損失(△)	△1,451	△234
営業外収益		
受取利息	38	64
受取配当金	34	35
投資不動産賃貸料	32	32
持分法による投資利益	0	0
補助金収入	161	83
保険解約返戻金	53	—
その他	37	40
営業外収益合計	358	256
営業外費用		
支払利息	183	128
為替差損	129	12
その他	20	81
営業外費用合計	333	222
経常損失(△)	△1,427	△200
特別利益		
投資有価証券売却益	150	—
特別利益合計	150	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,277	△200
法人税等	128	248
四半期純損失(△)	△1,406	△448
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,406	△448

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純損失(△)	△1,406	△448
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△86	△15
為替換算調整勘定	△643	1,802
退職給付に係る調整額	11	10
その他の包括利益合計	△719	1,797
四半期包括利益	△2,125	1,348
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,125	1,348

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、買戻し契約に該当する有償支給取引については、金融取引として棚卸資産を引き続き認識するとともに、有償支給先に残存する支給品の期末棚卸高について金融負債を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

この結果、四半期連結財務諸表に与える影響は、軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り

前事業年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の影響の終息時期等を含む仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	北米	中国	東南アジア	
売上高					
外部顧客への売上高	11,801	10,284	8,730	1,156	31,974
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,275	41	1,009	2,107	5,433
計	14,076	10,326	9,740	3,264	37,408
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△1,073	△1,155	824	△87	△1,491

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△1,491
セグメント間取引消去	36
その他の調整	3
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,451

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	北米	中国	東南アジア	
売上高					
外部顧客への売上高	13,080	15,215	12,556	1,602	42,454
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,128	32	1,427	2,569	6,156
計	15,208	15,247	13,983	4,171	48,610
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△1,402	△195	1,319	107	△172

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△172
セグメント間取引消去	△64
その他の調整	1
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△234